

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

国は違えど一緒に遊べば誰でも友達♪



熱烈歓迎



大宜味小4～6年生、香港天主教伍華小学生と交流



1月17日（金）、中国の香港天主教伍華小学校5年生25名が大宜味小学校を訪れ、4年生～6年生と様々な交流を行いました。

4年生の元気なソーラン節で迎え入れ、6年生が英語で日本の文化やスポーツ、沖縄のエイサーや芭蕉布、食べ物、大宜味小学校の様子を紹介。5年生は早口言葉チャレンジをするなど香港から来た友達を喜ばせました。自己紹介では片言の英語や中国語、日本語を使いジェスチャーや筆談も交えて交流。その後行われた交流レクでは両小混合のチームを作り、ドッチボールをして盛り上がりました。

交流はまだまだ続き、給食や、清掃活動も一緒に行いました。この日の交流を終え6年生の大城李才さんは「言葉が通じなくて難しかったけど、できる英語を全部使って話した。楽しかった」と話し、4年生の高良圭さん、渡嘉敷花さんは「たくさん交流できた。中国語もちょっと使い通じた。日本語が通じたのが面白かった」と喜び、真喜志美音さん、山城ももさんは「とても仲良くなって、給食時間に香港の子と一緒に芸をやる子もいて面白かった」と笑顔で話してくれました。

限られた時間の中でしたが、国や言葉は違ってもともにあそび、味わい、学びあうことでお互いを知る深い交流ができました。

新しいものに触れる、楽しみながら学ぶ 大宜味小、アンサンブル体験

1月9日（木）10日（金）、大宜味小学校にアンサンブルくまからのみなさんを招き3～6年生とアンサンブルを楽しむ音楽の授業を行いました。

9日の4年生の授業では今回使用する楽器を演奏しながら紹介。ピアノを担当する新崎洋実さん、誠実さん姉妹がハンガリー舞曲第5番を連弾で披露。曲が早くなったり遅くなったり二人の息が合った演奏を見せてもらいました。ハーモニカ担当の比嘉祥人さんは「ハーモニカは1つの楽器でメロディと伴奏を同時にふける楽器」と教えてくれ、カエルの歌の輪唱を披露してくれました。マリンバ・パーカッション担当の飛田あゆ梨さんがアフリカの木琴であるマリンバとマレットというばちについて説明。出したい音でマレットを選ぶことを教えてくれ、マリンバの演奏体験もさせてくれました。

その後、自分の体を楽器のように使うボディパーカッションで「勇気100%」をみんなで表現。目をつむって場面を想像しながら「ムーンリバー」の演奏を聴くこともしました。



授業後にも様々な楽器に触れさせてくれ、シンバル体験では上手に音が出せるみんなで何度も挑戦。児童たちも大いに盛り上がり、まさに「音楽を楽しむ」音楽の授業を受けることができました。



西会津町より「りんご」をいただきました！

1月23日（木）に大宜味小中学校の学校給食献立において、本村との友好・交流都市である福島県西会津町の郷土料理「五目ぶかし」、「こづゆ」、「りんご」等を児童生徒へ提供しました。



当日使用した「りんご」は、事前に西会津町さんからの御厚意により無償で提供いただきました。

児童生徒達からは「西会津のりんごだー」と喜びの声をあげ、美味しく頬張って給食を食べていました。西会津の皆様、この度は誠にありがとうございました。



クガニキッチンより「カラキパウダー」の提供がありました！

1月24日（金）の学校給食献立において「カラキナッツトースト」を作るにあたり、KuganiKitchen 合同会社の宮城美和子さんより大宜味村学校給食センターへ子供達の為に使ってくださると「カラキパウダー」の提供がありました。おかげさまで当日のトーストは美味しく仕上がり、児童生徒達も喜んで食べている様子でした。宮城美和子さん、児童生徒達の為に誠にありがとうございました。



1月4日（土）、大宜味村農村環境改善センターにおいて、令和7年大宜味村二十歳の集いが行われました。今年の該当者は29名、そのうち22名が式典に出席しました。

面影も残しつつすっかり成長した大宜味中40期生。男子はスーツ、女子は色とりどりの個性豊かな着物に身を包んで笑顔で入場し、たくさんの温かい拍手で迎えられました。

成人者代表あいさつをした大宜味区の上地涼さんは「大人になっても男女関係なく気軽に集まり、常に顔を合わせられる環境にいれることに感謝するとともに大宜味村に生まれてよかったと心から感じます。私たちは進学し将来の夢の実現に向けて頑張っている人、就職し社会人として大人の仲間入りをした人、自己の成長のために努力している人など各々が個性豊かな日々を送っています。立場はそれぞれですが、こうして新たな門出を迎えた今、成人としての自覚を持ち責任感ある行動をしていけるような大人になれるよう励んでいきたいと思っております」と決意を述べました。



成人代表：上地涼さん

式典後の激励交換会では成人者の大石洋平さんが弾き語りを披露し同級生や家族、地域の方々を喜ばせました。

個性豊かで楽しいメンバーの40期生。久々の再会もあの頃と変わらない仲の良さを見せてくれました。



第47回

新緑の塩屋湾を走ろう!

塩屋湾一周 2025 マラソン大会



2025年4月20日（日）開催

定員：800名 ※定員に達し次第締め切り

参加料：大人3000円／小人1000円（高校生以下）

参加賞：タオル・陶器

会場：旧塩屋小学校

申し込み期間

窓口現金受付 / 郵送申込 1月20日（月）～2月28日（金）

当日消印有効

インターネット申込 1月20日（月）～3月7日（金）

あなたのスポーツがココにある

SPORTS ENTRY

www.sportsentry.ne.jp



お問い合わせ

塩屋湾一周マラソン大会事務局（大宜味村教育委員会内）TEL0980-44-3006（担当：島袋）
または、エントリーセンターTEL098-987-4000（平日 10:00～17:00）

図書室情報

No.66 2025年（令和7年）2月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久 157 番地 0980-44-3009

新着図書

- 『自分で育む妊娠力』佐久本哲郎 / 著 光文堂コミュニケーションズ
- 『きょう、ゴリラをうえたよ』水野太貴 / 著 KADOKAWA
- 『やっとなかなか』わたなべぼん / 著 幻冬舎
- 『介護現場歴 20 年。』安藤なつ / 著 主婦と友社
- 『遊廓島心中譚』霜月流 / 著 講談社
- 『フェイク・マッスル』日野瑛太郎 / 著 講談社
- 『すごすぎる色の図鑑』ingecter-e / 著 KADOKAWA

2月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

お知らせ

蔵書点検をおこないます。

期間・・・2/17（月）～27（水）

通常通り貸出などを行いながら点検します。
手にとった本は、もとあった棚に戻すよう、
点検作業へのご協力をお願いいたします。

利用状況累計

- 来室者数…のべ3,796人
- 貸出冊数…6,283冊
- 登録者数…186人

1月の統計（1/27まで）

- 来室者数…のべ48人
- 貸出冊数…73冊

現在の蔵書数…8,606冊

丸鶏の解体に挑戦!! 令和6年度わんぱく体験団 第6弾「TAKIDASHI（炊き出し）&修了式」

1月18日（土）、大宜味村農村環境改善センターにおいて令和6年度わんぱく体験団⑥「TAKIDASHI（炊き出し）&修了式」が行われました。

昨年の沖縄本島北部豪雨では多くの家が被災し、国頭村では被災した人たちのために炊き出しが行われました。いつどこで起こるか分からない災害。実際に災害があった時命を守ることはもちろんですが、安全が確保された後、自分たちにもできることや協力できることがあるかもしれない。とゆーことで、試してみよう、炊き出し。

メニューは何がいいかな？ 冬だし、あったかいのがいいよね？ そしたら汁物？ そばもおいしいよね？ 安くて出汁を取りたいよね？ と言うことで、ハイケイそばを作ることに決定!! わんぱくらしく、まずは丸鶏を解体することから始めます。



丸鶏の解体は副団長の寛さんに教わります。みんな真剣に見入ってます。さあ、次はあなたたちの番。最初からうまくできなくてもいい。とにかく挑戦してみよう! 各班2羽の丸鶏を解体しよう! まずは脚を開きます。包丁で皮を切ったら、関節を外して、腱を切ったら、肉を切って脚を外します。脚が外せたら、次は手羽。その次は胸肉、ささみと1羽の鶏をお店で売っているような部分部分に分けていきます。だいたいいいです。食べやすい大きさにできればOK!



鶏が解体できたら火にかけます。その間に作業台をきれいにして、次は野菜を切ります。やることたくさん。わんぱくたちはテキパキ作業を進めます。鍋の鶏も忘れちゃいけない。沸騰したら、今度は灰汁取りに励みます。鶏肉に十分火が通ったら、一旦鍋から取り出し、骨から肉をそいで食べやすくします。スープの味付けは寛さんに任せて、そばにかけたら、ハイケイそばの完成です!! 家族も呼んでいよいよ実食。炊き出しらしく、外で食べます。



みんなが作ったハイケイそば。果たして、そのお味は???

ハイ! おいしい。当たり前においしい。そして食べやすい。頑張ったかいがありました。お腹も心も満たされました!

今回は今年度最後のわんぱく。修了式ではもも子さん、美音さん、将大さんの3名が皆勤賞に!! 1年間みんなよく頑張りました!



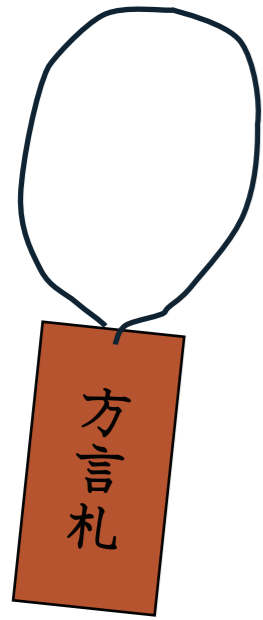
地域の掟「内法」

内法（ないほう）は、琉球王国において、間切や村の共同体秩序を守るために定められた掟（おきて）で、村締（むらじまい）・村固（むらがたみ）・

村吟味（むらじんみ）などとも呼ばれていた。

内法には間切内法や近隣のいくつかの村を一つのまとまりとした〇ヶ村内法などがあり、違反者には木片に違反の内容を記した札が渡され、次の違反者が出るまで罰金を払わなければならない仕組みで、積みあがった罰金を払うことができず密かに逃げ出し山奥に籠る者もあったという。

都市部においては昭和初期頃までにほぼ消滅したといわれるが、村史編纂係が各字で行なった調査では「戦後まで「トゥイ札（鶏札）」を持たされた」という証言も出ており、やんばるでは形を変えて存続していた地域もあるようだ。また、戦後の共通語励行にからむ「方言札」の思い出を語られる先輩方も多かった。以下に大宜味村内で施行されていた内法を紹介する。



方言札イメージ図

1. 大宜味間切（親田、見里、屋嘉比）三ヶ村内法
- 一人ノ諸作物ヲ盗ミ取ルモノ
 - 川面ニ牛繫キ置クモノ
 - 牛ノ他人ノ諸作物ニ害スルモノ
 - 田方ニ稲植付後田魚及セー等ヲ取ル為メ田ニ踏ミ入ルモノ
 - 緯札ヲ渡ス時ニ両本ダンパン致シ村吏員親々集会ノ上勝負ヲ決シ一方ノ負けン方ハ金貳円ノ科金ヲ徴収俵事
 - 右点々ニ違犯スルモノハ一日ニ科金壹銭ツ、徴収俵事
- 口語訳
- 他人の諸作物を盗む者
 - 川面に牛を繋ぎおく者
 - 牛が他人の作物に害をなした時
 - 田植えが終わった後の田に田魚やセー（ヌマエビ）等を取るために踏み入る者
 - 取締り札を渡す時に（被害・加害）両者の言い分を聞いたうえで、村吏員は審議会を開いて吟味判断し、非のある方から金二円の科金を徴収するものとする
 - 右のそれぞれに違反する者は一日に付一銭ずつ徴収するものとする

2. 大宜味間切喜如嘉村内法
- 一人ノ諸作物盗取又ハ損害ヲナスコト
 - 川アモト並汐垣道路破害ヲナスコト
 - 川アモト並汐垣ヨリ竹及アタン其他諸本漫ニ伐採スルコト
 - 道路並本山野筋々立本漫ニ伐採スルコト
 - 村抱護々々ヨリ諸本大小ニ拘ハラズ伐採スルコト
 - ウカミ山ヨリ諸本大小ニ拘ハラズ伐採スルコト
 - ウカンハイク山松禁止敷ヨリ松本伐採スルコト
 - 川アモト並汐垣又ハ他人ノ田方桃畑本蘇鉄畑ニ牛馬繫置俵コト
 - 他人ノ諸作物ニ牛馬ノ損害ヲナスコト
 - 他人ノ本蘇鉄ヨリ松本を伐採スルコト
 - ウカン筋開墾地跡松仕立ヨリ松本伐採スルコト
 - 村諸抱護並ウカミ山汐垣ヨリ本景取ル事
 - 右箇条書之通禁止シ若シ違背ノモノハ緯札ヲ渡シ日金壹銭ツ、ノ科金ヲ申付俵尤モ右金収入方ハ一ヶ年式期ニテ收納シ村中各々々へ相渡シ与テ配当致俵事
- 口語訳
- 一人の諸作物を盗んだり損害を与えること
 - 川の土手並びに海岸の堤の道路を破壊すること
 - 川の土手並びに海岸の堤より竹やアタン、その他の木をやたらに伐採すること
 - 道路の並木や山野筋の立木をやたらに切ること
 - 一村の抱護林の木を大小にかかわらず切ること
 - ウカミ山の木を大小にかかわらず切ること
 - ウカンハイク山の伐採禁止区域の松を切ること
 - 川や海岸の土手、他人の田、桃畑、ソテツ畑に牛馬を繋ぐこと
 - 他人の諸作物を牛馬が（食ったり踏み荒らしたり）損害を与えること
 - 他人のソテツ畑から松の木を切ること
 - ウカン筋開墾地跡の松植林地から松の木を切ること
 - 一村の抱護林並びにウカミ山海岸堤から草を刈ること
 - 右箇条書きの通り禁止し、もし違反する者は緯札を渡し一日に一銭ずつ科金を申し付ける。科金の納付については一年二期にて収納し、村の各組へ渡し、組において配当すること

村史編さんだより

第166号 2025年2月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

懐しい昭和の記憶📷 謝名城より1960～70年代の写真の寄贈がありましたので、ご紹介します♪



1967年 未・申生49才記念 生年祝は正装で祝った



ステーチ建設社オクマ現場従業員親睦記念 1957.5.12



謝名城幼稚園観光記念 1967年4月30日



豊年踊りの道ズネーを思い思いの仮装で出迎える婦人たち



謝名城の婦人たち 髪型や服装からその時代の流行りが分かる



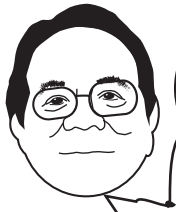
テントを利用した簡易的な舞台の前で



謝名城の子どもたち 昔はどこも子どもであふれていた



祝いの席の青年たち 結婚式も他のお祝も自宅で行った



政信教育長のあじま～コラム

「教育の日 褒めて育てる」

本村では、2月第一日曜日を「教育の日」と定めています。今年は2日になりますが、今回から子ども家庭庁が提唱している、「こどもまんなか社会」政策を受けて、これまでの教育委員会や学校が中心だった催しから、子ども中心の催しにしたいと考えています。

各学級における授業公開、児童生徒の学習成果の発表、そして、この1年文化、スポーツ、学校及び地域行事等で活躍、功績のあった児童生徒を多くの村民の前で表彰し、褒めてあげたいと思っています。

乳幼児教育において一番大切にしていることは褒めて育てることです。乳幼児期にかかわらず子育ての基本は褒め、認めることで自己肯定感を高めることだと思います。また、学ぶ意欲を引き出すための大きな要因に、他人に認められるということがあります。常時関わっている保護者や学校の先生以外に地域の方に認め、褒められることは学習意欲が倍増すると言われています。今回の児童生徒表彰がその機会になることを願っています。

さて、今回の表彰者には学校教育の場のみならず地域で頑張っている子たちについても、各区の区長さんから推薦をいただきました。具体的には地域の豊年祭への参加です。私も大宜味に戻ってきて各区の豊年祭等にはできるだけ参加するようにしていますが、住民がどんどん減少している中、私が幼い頃経験したのと同じように地域行事を守り続け、あの頃と同じように毎年、行事が行われていることに深く感銘を覚えています。数年前、故郷の根路銘区の豊年祭後の反省会で、ある先輩が、「絶やしてはいけないという地域に対する思いと多くの人の関わりによって毎年続けられていることに感謝したい」ということがありました。学校では自分の住んでいる地域を愛する心を育てる学習がありますが、その言葉こそが郷土愛だと思いました。

教育の日には、その地域行事のため一役を担っている子どもたちを含め、児童生徒全員を地域全体でいっぱい認め、褒める日にしたいと考えています。

今月の生きもの

リュウキュウアオヘビ：ナミヘビ科

こんにちは！私、リュウキュウアオヘビです。

私の体の背面は緑色（灰色がかった黄緑色）でもようもなく腹面は黄色なので、みんなが思い描くヘビのイメージが一番近いんじゃないかな？毒もなく、人を見たら逃げてしまうような大人しいヘビですが、しつこく構われたら、威嚇するからね。主に日中に活動しますが、夜動くこともあります。主食はミミズ。ミミズを食べている時はまるでうどんをすすっているように見えるんだって。



撮影：村山望

2月の行事予定

- | | | |
|--------------------------------|---|------------------------------|
| 2日（日）小中一斉授業参観
（中）親子もちつき大会 | 2月9日

ふくの日 | 13日（木）旧十六日 |
| 3日（月）小中振替休日 区長会
（園）個人面談 ～7日 | | 14日（金）（園）保育参観日 |
| 4日（火）（中）新入生保護者説明会 | | 17日（月）（小）新入生保護者説明会 |
| 7日（金）「体験の翼」冬季交流 ～10日 | | 21日（金）（園）お別れ遠足 |
| 8日（土）国頭地区ミニバスケット交歓会 ～9日・15日 | | 23日（日）天皇誕生日 |
| 11日（火）建国記念の日 | | 24日（月）振替休日 |
| | | 26日（水）（小）新1年生体験入学
5年生お招き会 |
| | | 27日（木）定例教育委員会会議 |

2月になりました。中学校のもちつき大会、小学校の持久走大会、「体験の翼」冬季交流など冬ならではのイベントが行われます。西会津町、雪降っているといいな。雪で遊んだり、寒い中で温かいもの食べたり冬を満喫したいです。